

高知県感染症発生動向調査（週報）

2018年 第30週 （7月23日～7月29日）

★お知らせ

○夏型感染症（手足口病・咽頭結膜熱（プール熱）・ヘルパンギーナ）に気を付けて！

夏型感染症の報告が増加していますので注意しましょう。

手足口病

定点医療機関当たりの報告数は、第29週の1.93から第30週には1.27と減少しています。県全域から報告があり、安芸、高知市で急減していますが、中央東、幡多、須崎で急増しています。

病原体検出情報では臨床診断名「手足口病」として搬入された検体から Enterovirus 71 が3例検出されています。手足口病・ヘルパンギーナの原因ウイルスであるエンテロウイルスの検出状況としては、臨床診断名「ヘルパンギーナ」「伝染性紅斑」「不明発疹症」「急性発疹症」「なし」として搬入された検体から Cocksackievirus A9 が10例、「なし」から Cocksackievirus B2 が1例検出されています。なかでも Enterovirus 71 は中枢神経系の合併症の発生率が高いことが知られ、まれに急性髄膜炎や急性脳炎を生ずることがあります。高熱・嘔吐・頭痛が見られる場合は十分に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

咽頭結膜熱（プール熱）

定点医療機関当たりの報告数は、第29週の0.63から第30週は0.93と増加しています。須崎、高知市で急増、中央西で増加し、特に幡多、須崎、中央西では注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報ではアデノウイルスによる感染症9例の報告があります。

＜予防方法＞ これらの疾病は主に接触感染、飛沫感染、患者の便により感染が拡大します

手洗い・うがいが大切です。流水と石けんでよく手を洗いましょう。また、幼稚園、保育園、学校など集団生活ではタオル・コップ等を共用することは避けるなどして、感染予防に努めてください。

○流行性角結膜炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は、第29週1.00から第30週には2.33と急増しています。安芸で急減していますが、高知市で急増し、特に高知市では注意報値を超えています。

定点医療機関からのホット情報では、小児科定点医療機関から流行性角結膜炎1例の報告があります。

この病気は、「はやり目」とも言われ、流涙、結膜充血、眼脂が主な症状で、感染力が強く、片眼発症後は2~3日で両眼に発症することもあります。また、耳前リンパ節腫脹と圧痛を伴うこともあります。アデノウイルスによる接触感染のため、患者の眼や顔を触った後は流水と石けんでしっかり手洗いしましょう。

＜予防方法＞ 人が濃密に接触する機会が多い場所は注意して下さい

できるだけ他人との接触は避け、眼を触ったらすぐに石けんと流水で手洗いしましょう。家庭内ではタオル、枕、その他眼や涙で汚れそうな物の共有は避け、入浴の際には最後にするか、シャワーのみにしましょう。

○感染性胃腸炎に気を付けて！

定点医療機関当たりの報告数は、第29週の2.57から第30週には2.57と横ばいです。安芸、中央西で急減していますが、須崎で急増しています。

定点医療機関からのホット情報では、ノロウイルス2例、細菌のカンピロバクター属菌を原因とする胃腸炎3例の報告があります。

病原体検出情報では臨床診断名「感染性胃腸炎、気管支肺炎」として搬入された検体から Human metapneumovirus が1例、「感染性胃腸炎」から Echovirus 7 が1例、*Salmonella enteritidis* が1例、臨床診断名「なし」では Norovirus GII NT が1例検出されています。

細菌による感染性胃腸炎のほとんどの場合、患者との接触（便など）や汚染された水、食品によって経口的に感染します。

＜予防方法＞ 手洗いが有効です。

帰宅時や調理・食事前、トイレの後には石けんと流水でしっかりと手を洗いましょう。また、便や嘔吐物を処理する時は、感染した人の便やおう吐物には直接触れないようにし、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムまたは、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤の使用方法を確認したうえで、キッチンペーパーなどを使用して処理しましょう。処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

細菌による感染性胃腸炎の予防対策としては、食中毒の一般的な予防方法（食中毒菌を①付けない（洗う・

分ける) ②増やさない(低温保存・早めに食べる) ③やっつける(加熱処理))です。食品の冷所保存を心がけ、長期保存は避ける、加熱は十分にするなど、日常生活での食中毒予防を心がけてください。

○百日咳に気を付けて!

第30週に百日咳の発生届けが、高知市保健所から5例報告され、そのうち2例は予防接種時期に達していない乳児でした。2018年にはいって高知県内の百日咳の届出は合計136例となっています。

百日咳は、感染力が強く、咳やくしゃみなどによる飛沫感染や接触感染により感染します。7~10日程度の潜伏期を経て、普通の咳症状で始まり、咳の回数が増えていきます。次第に短い咳が連続的に起こり、息を吸う時に笛のようなヒューという音が出るようになり、このような咳嗽発作が繰り返されます。やがて、激しい咳は減衰していき、2~3ヶ月ほどで回復します。

百日咳は**特にワクチン未接種の乳幼児が罹患すると重症化しやすく**、罹患しても典型的な発作性の咳嗽を示すことが少ない比較的軽い症状の成人から重症化しやすいワクチン未接種の新生児や乳児へ感染することが考えられることから、成人で咳が長期にわたって持続する場合は注意して下さい。

<予防方法> 4種混合ワクチンは生後3ヶ月から接種出来ます

- ・生まれた直後から百日咳にかかる可能性があります。咳が続いている人は、百日咳の可能性も考えて、赤ちゃんに注意して接しましょう。
- ・外出時にはマスクを着用し、人混みはなるべくさげ、帰宅時には、手洗いを励行しましょう。
- ・定期予防接種があります。ワクチンは生後3ヶ月から接種可能なので、かかりつけ医と相談し、出来るだけ早く受けておくことをお勧めします。

●国立感染症研究所 百日咳 感染症法に基づく医師届出ガイドライン

https://www.niid.go.jp/niid/images/epi/pertussis/pertussis_guideline_180425.pdf

☆山や草むらでの野外活動の際にはダニに注意



農作業や草刈りの時には、長袖・長ズボンで肌の露出を出来るだけ少なくしましょう。

日本紅斑熱や SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は屋外に生息するダニの一種で、比較的大型（吸血前で3～4mm）のマダニが媒介する感染症です。

「マダニに咬まれないこと」がとても重要です。

マダニは、暖くなる春から秋にかけて活動が活発になります。人も野外での活動が多くなることから、マダニが媒介する感染症のリスクが高まります（全てのマダニが病原体を持っているわけではありません）。

【マダニに咬まれないために】

- 長袖・長ズボン・長靴などで肌の露出を少なくしましょう。
- マダニに対する虫除け剤（有効成分：ディートあるいはイカリジン）を活用しましょう。
- 地面に直接座ったりしないよう、敷物を使用しましょう。
- 活動後は体や衣服をはたき、帰宅後にはすぐに入浴し、マダニに咬まれていないか確認しましょう。
- ペットの散歩等でマダニが付き、家に持ち込まれることがありますので注意しましょう。

国内で入手できる忌避剤の種類と特徴

忌避剤	有効成分含有率	分類	有効持続時間	注意事項	特徴
ディート	5～10%	防除用 医薬部外品	1～2時間	6ヶ月未満児には 使用禁止	・独特の匂い ・べたつき感 ・プラスチック・化学繊維・皮革を腐食することもある
	12%	防除用 医薬品	約3時間		
	高濃度製剤 30%	防除用 医薬品	約6時間		
イカリジン	5%	防除用 医薬部外品	～6時間	12歳未満は 使用禁止	
	高濃度製剤 15%	防除用 医薬品	6～8時間		

※国立感染症研究所「マダニ対策、今できること」より抜粋
※市販の虫除け剤(忌避剤)は、用法・用量・使用方法等をよく読んで使用してください。

野山に入ってからしばらくして（数日～数週間程度）発熱等の症状が出た場合、医療機関を受診して下さい。受診の際、発症前に野山に立ち入ったこと（ダニに咬まれたこと）を申し出て下さい。

SFTSはマダニからの感染が一般的ですが、最近の研究で、SFTSウイルスに感染し、発症している野生動物やイヌ・ネコなどの動物の血液からSFTSウイルスが検出されています。このことは、SFTSウイルスに感染している動物の血液などの体液に直接接触した場合、SFTSウイルスに感染することも否定できませんので、動物に触った後は必ず手洗いをするなどの感染予防に努めましょう。また、体調不良の動物と接触した後、発熱等の症状が出た時は、早めに医療機関を受診してください。その際には、動物との接触歴についても申し出てください。

- 重症熱性血小板減少症候群（SFTS）に関する Q&A（厚生労働省）
http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou19/sfts_qa.html
- 高知県衛生研究所 ダニが媒介する感染症及び注意喚起パンフレット
<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/130120/2015111600016.html>

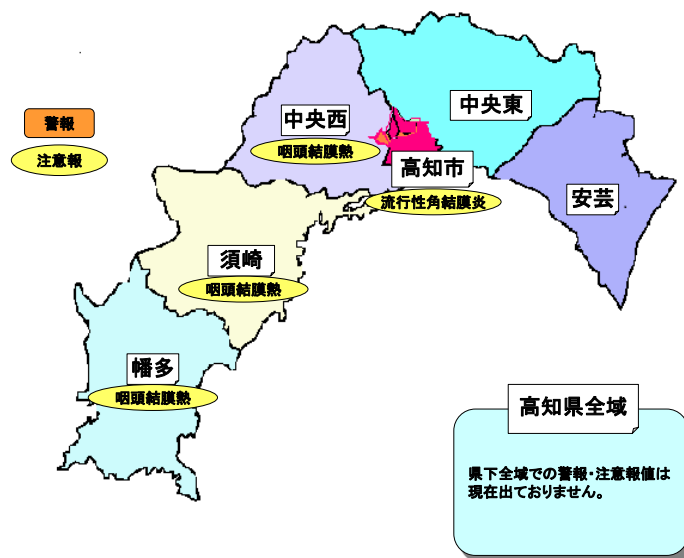
★県内での感染症発生状況

インフルエンザ及び小児科定点把握感染症 (上位疾患)

↑ : 急増 ↗ : 増加 → : 横ばい ↘ : 減少 ↓ : 急減

疾病名	推移	定点当たり報告数	県内の傾向
感染性胃腸炎	→	2.57	安芸、中央西で急減していますが、須崎で急増しています。
手足口病	↘	1.27	安芸、高知市で急減、県全域で減少していますが、中央東、幡多、須崎で急増しています。
咽頭結膜熱	↗	0.93	須崎、高知市で急増、県全域、中央西で増加し、幡多、須崎、中央西では注意報値を超えています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↘	0.60	高知市で急減、県全域、幡多で減少していますが、須崎、安芸で急増しています。
突発性発疹	→	0.53	中央東で減少していますが、安芸で急増、高知市で増加しています。

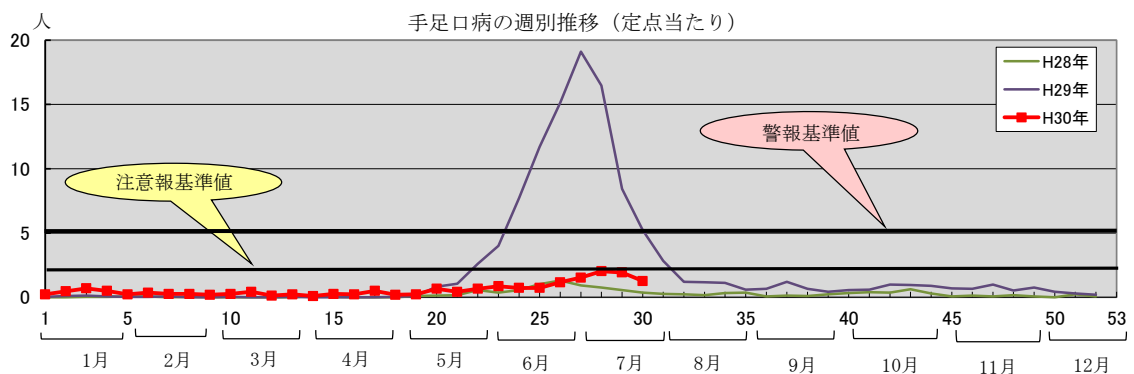
★地域別感染症発生状況



★気を付けて！

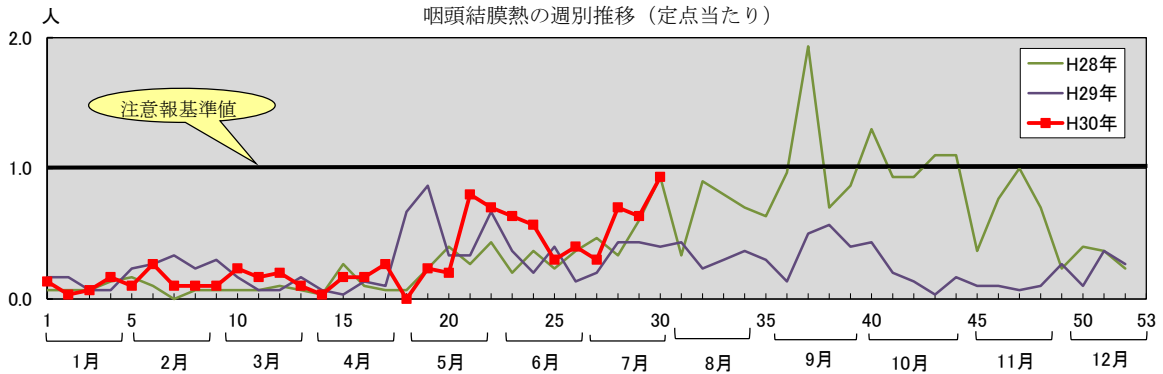
○手足口病 第30週：1.27 (注意報値：2.00 警報値：5.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 1.27 (前週：1.93) と減少しています。安芸 1.50 (前週：9.00) 高知市 1.27 (前週：2.82) で急減していますが、中央東 1.43 (前週：0.29) 幡多 1.20 (前週：0.60) 須崎 1.00 (前週 0.50) で急増しています。年齢別に見ると、患者の 97% が 5 歳以下となっています。



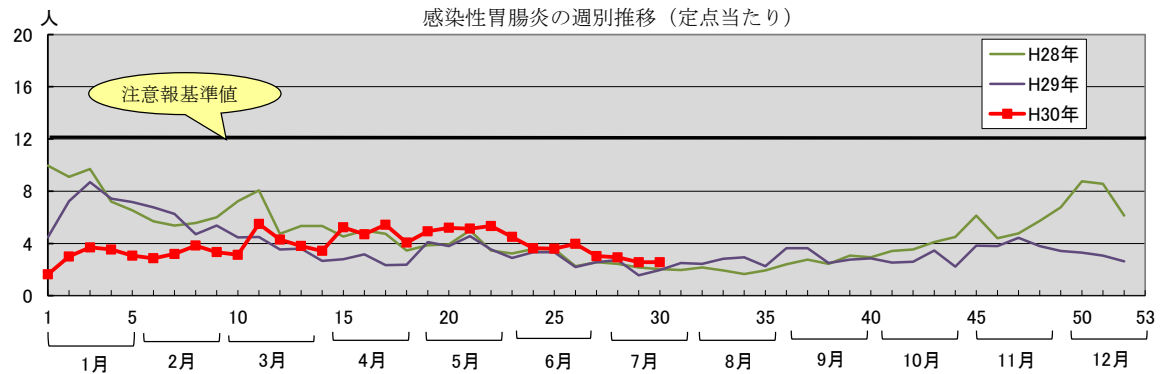
○咽頭結膜熱 第30週：0.93 (注意報値：1.00 警報値：3.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 0.93 (前週：0.63) と増加しています。須崎 1.50 (前週：0.00) 高知市 0.73 (前週：0.27) で急増、中央西 1.00 (前週：0.67) で増加し、幡多 2.80 (前週：2.80) 須崎、中央西では注意報値を超えています。



○感染性胃腸炎 第30週：2.57 (注意報値：12.00 警報値：20.00)

定点医療機関からの報告数は定点当たり 2.57 (前週：2.57) と横ばいですが、安芸 1.50 (前週：5.50) 中央西 0.00 (前週：0.67) で急減していますが、須崎 1.00 (前週：0.00) で急増しています。



★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
30	感染性胃腸炎、気管支肺炎	40℃,嘔吐,嘔気,咳嗽,気管支炎,肺炎,	1	女	中央東	Human metapneumovirus
30	—	嘔吐,	2ヶ月	女	高知市	Norovirus GII NT
30	熱性けいれん、気管支炎	38℃,咳嗽,気管支炎,	1	女	中央東	Parainfluenza virus 3

前週以前に搬入

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
28	ヘルパンギーナ	発疹,	1	男	高知市	Coxsackievirus A9
28	伝染性紅斑?	発疹,	1	男	中央東	Coxsackievirus A9
28	不明発疹症	39℃,発疹,	1	男	須崎	Coxsackievirus A9
28	不明発疹症	発疹,	2	男	須崎	Coxsackievirus A9
28	感染性胃腸炎	38℃,下痢,嘔吐,嘔気,	1	男	須崎	Echovirus 7
28	不明発疹症	39℃,発疹,	6	男	須崎	Epstein-Barr virus
29	—	39℃,	5	男	高知市	Coxsackievirus A9
29	不明発疹症	発疹,	1	男	高知市	Coxsackievirus A9
29	不明発疹症	39℃,発疹,	1	女	高知市	Coxsackievirus A9
29	不明発疹症	38℃,発疹,	2ヶ月	男	須崎	Coxsackievirus A9
29	急性発疹症	38℃,下痢,発疹,	11ヶ月	女	須崎	Coxsackievirus A9
29	不明発疹症	38℃,発疹,	1	女	須崎	Coxsackievirus A9
29	—	38℃,上気道炎,	1ヶ月	女	高知市	Coxsackievirus B2
29	手足口病	40℃,発疹,	7	女	高知市	Enterovirus 71
29	手足口病	38℃,嘔吐,発疹,	2	女	須崎	Enterovirus 71
29	手足口病	38℃,発疹,	2	男	須崎	Enterovirus 71
29	発疹症	発疹,	4	女	須崎	Human herpes virus 7
29	感染性胃腸炎	下痢	15	女	中央東	Salmonella Enteritidis

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所	
2類	結 核	1	64	80歳代 女	高知市	
		1		80歳代 男	須 崎	
		1		90歳代 男	幡 多	
5類	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	8	80歳代 男	高知市	
		1		90歳代 女		
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	5	30歳代 男		
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	5	80歳代 女		
	百日咳		1	136		0~4歳 男
			1			0~4歳 女
			1			5~9歳 男
			1			5~9歳 女
		1	30歳代 女			

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	おひさまこどもクリニック	29週：カンピロバクター腸炎1例（7歳女）
高知市	高知医療センター小児科	ヒトメタニューモウイルス1例（1歳男）
	けら小児科・アレルギー科	カンピロバクター腸炎1例（9歳） アデノウイルス咽頭炎1例（3歳）
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症2例 手足口病6例 伝染性紅斑1例（1歳女） ヘルパンギーナ1例
	細木病院小児科	ノロ2例（9ヶ月女、10ヶ月男）
中央西	くぼたこどもクリニック	伝染性紅斑1例（4歳男：須崎市） 手足口病1例（3歳女：須崎市）
	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎1例（10ヶ月男）
須 崎	もりはた小児科	流行性角結膜炎1例（1歳女） 今週も百日咳0
幡 多	渭南病院小児科	伝染性膿痂疹1例（3歳男）
	こいけクリニック	アデノ3例（3歳男、4歳男女）
	さたけ小児科	キャンピロバクター腸炎1例（5歳男） アデノ4例（1歳男女、3歳男、4歳男）

★全国情報

第28号（7月9日～7月15日）

1類感染症：報告なし

2類感染症：結核313例

3類感染症：細菌性赤痢1例、腸管出血性大腸菌感染症91例

4類感染症：E型肝炎10例、A型肝炎21例、オウム病1例、回帰熱1例、重症熱性血小板減少症候群2例
つつが虫病1例、デング熱1例、日本紅斑熱2例、レジオネラ症54例

5類感染症：アメーバ赤痢10例、ウイルス性肝炎2例、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症20例
急性脳炎4例、クロイツフェルト・ヤコブ病2例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症7例
後天性免疫不全症候群17例、侵襲性インフルエンザ菌感染症2例
侵襲性髄膜炎菌感染症1例、侵襲性肺炎球菌感染症18例、水痘（入院例に限る）4例、
梅毒87例、破傷風2例、バンコマイシン耐性腸球菌感染症2例、百日咳141例、風しん3例、
麻しん1例

報告遅れ：E型肝炎1例、つつが虫病1例、日本紅斑熱4例、レジオネラ症9例
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症11例、急性弛緩性麻痺1例、急性脳炎4例
劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、水痘（入院例に限る）1例、梅毒41例、
播種性クリプトコックス症1例、百日咳70例、風しん1例、麻しん9例

高知県感染症情報(59定点医療機関)

第30週 平成30年7月23日(月)～平成30年7月29日(日)

高知県衛生研究所

定点名	疾病名	保健所	第30週							計	前週	全国(29週)	高知県(30週末累計)		全国(29週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/7/29				H30/1/1～H30/7/22			
インフルエンザ	インフルエンザ								()	()	273 (0.06)	20,862 (434.63)	1,759,489 (355.96)			
小児科	咽頭結核熱				8	3	3	14	28 (0.93)	19 (0.63)	1,727 (0.55)	264 (8.80)	42,619 (13.50)			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1	9			5	2	18 (0.60)	26 (0.87)	4,950 (1.57)	1,272 (42.40)	225,048 (71.31)			
	感染性胃腸炎	3	24	34			2	14	77 (2.57)	77 (2.57)	12,090 (3.84)	3,455 (115.17)	492,205 (155.96)			
	水痘	1		2					3 (0.10)	4 (0.13)	896 (0.28)	158 (5.27)	30,397 (9.63)			
	手足口病	3	10	14	3	2	6		38 (1.27)	58 (1.93)	5,898 (1.87)	536 (17.87)	53,856 (17.06)			
	伝染性紅斑	1	1	2	1	1	1		7 (0.23)	10 (0.33)	810 (0.26)	71 (2.37)	13,840 (4.39)			
	突発性発疹	1	2	7	1	1	4		16 (0.53)	15 (0.50)	1,483 (0.47)	327 (10.90)	40,748 (12.91)			
	ヘルパンギーナ			3	3		4		10 (0.33)	5 (0.17)	7,833 (2.49)	48 (1.60)	30,229 (9.58)			
	流行性耳下腺炎			1					1 (0.03)	1 (0.03)	535 (0.17)	42 (1.40)	14,634 (4.64)			
	RSウイルス感染症			1			1		2 (0.07)	3 (0.10)	2,388 (0.76)	201 (6.70)	36,644 (11.61)			
眼科	急性出血性結膜炎								()	()	9 (0.01)	()	401 (0.58)			
	流行性角結膜炎			7					7 (2.33)	3 (1.00)	560 (0.81)	34 (11.33)	15,700 (22.53)			
基幹	細菌性髄膜炎								()	()	7 (0.01)	3 (0.38)	278 (0.58)			
	無菌性髄膜炎								()	()	29 (0.06)	1 (0.13)	369 (0.77)			
	マイコプラズマ肺炎			1					1 (0.13)	()	80 (0.17)	48 (6.00)	2,261 (4.71)			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)								()	()	1 ()	12 (1.50)	96 (0.20)			
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)								()	()	5 (0.01)	29 (3.63)	2,975 (6.20)			
	計(小児科定点当たり人数)	10 (5.00)	38 (5.43)	89 (7.36)	11 (3.66)	14 (7.00)	46 (9.20)	208 (6.66)			39,574	27,363 (647.11)	2,761,789			
前週(小児科定点当たり人数)	31 (14.50)	28 (4.00)	102 (9.17)	11 (3.67)	8 (4.00)	41 (8.20)		221 (7.26)								

注 ()は定点当たり人数。

高知県感染症情報(59定点医療機関) 定点当たり人数

定点名	疾病名	保健所	第30週							計	前週	全国(29週)	高知県(30週末累計)		全国(29週末累計)	
			安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	H30/1/1～H30/7/29				H30/1/1～H30/7/22			
インフルエンザ	インフルエンザ										0.06	434.63	355.96			
小児科	咽頭結核熱				0.73	1.00	1.50	2.80	0.93	0.63	0.55	8.80	13.50			
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.50	0.14	0.82			2.50	0.40	0.60	0.87	1.57	42.40	71.31			
	感染性胃腸炎	1.50	3.43	3.09			1.00	2.80	2.57	2.57	3.84	115.17	155.96			
	水痘	0.50		0.18					0.10	0.13	0.28	5.27	9.63			
	手足口病	1.50	1.43	1.27	1.00	1.00	1.20		1.27	1.93	1.87	17.87	17.06			
	伝染性紅斑	0.50	0.14	0.18	0.33	0.50	0.20		0.23	0.33	0.26	2.37	4.39			
	突発性発疹	0.50	0.29	0.64	0.33	0.50	0.80		0.53	0.50	0.47	10.90	12.91			
	ヘルパンギーナ			0.27	1.00		0.80		0.33	0.17	2.49	1.60	9.58			
	流行性耳下腺炎			0.09					0.03	0.03	0.17	1.40	4.64			
	RSウイルス感染症			0.09			0.20		0.07	0.10	0.76	6.70	11.61			
眼科	急性出血性結膜炎										0.01		0.58			
	流行性角結膜炎			7.00					2.33	1.00	0.81	11.33	22.53			
基幹	細菌性髄膜炎										0.01	0.38	0.58			
	無菌性髄膜炎										0.06	0.13	0.77			
	マイコプラズマ肺炎			0.20					0.13		0.17	6.00	4.71			
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)											1.50	0.20			
	感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)										0.01	3.63	6.20			
	計(小児科定点当たり人数)	5.00	5.43	7.36	3.66	7.00	9.20	6.66				647.11				
前週(小児科定点当たり人数)	14.50	4.00	9.17	3.67	4.00	8.20		7.26								

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生研究所）
〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1（保健衛生総合庁舎1階）
TEL：088-821-4961 FAX：088-825-2869

この情報に記載のデータは2018年7月30日現在の情報により作成しています。調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがありますが、その場合週報上にて訂正させていただきます。